

草津市立水生植物公園みずの森観察会

日 時

2023年7月28日（金）晴れ



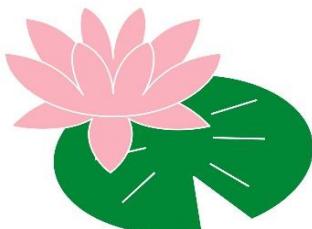
参 加 者

18人（欠席5人）講座生4人

集合場所・時間

JR草津駅西改札口 9時20分
近江鉄道バス9時39分発に乗車

行 程



作 成 者

植物園入口10時到着
ボランティアガイドと合流し、
午前中、2班に分かれて園内を
案内してもらう。
午後は映像ホール上映
展示物鑑賞他。



14時発のバスで帰途に就く
宮澤 文子



とても暑かった一日でしたが、空調の効いた部屋で適度な休息と
水分補給で元気に乗り切りました。講座生の皆さんもとても元気。



講座生4人の紹介



午前中の案内ガイド伊吹・小西さん年齢を聞いてびっくり お互いに頑張りましょう!!

草津市の花[アオバナ]

ツユクサ科の在来種。大きな花びらが特徴
草津市で栽培し続けられてきた貴重な種
ボランティアの方手作りのアオバナ葉を
いただきました。

「青花紙」は青色色素を和紙にしみ込ませ
乾燥させた物。日本の染色文化を支える
貴重な植物素材となっている。



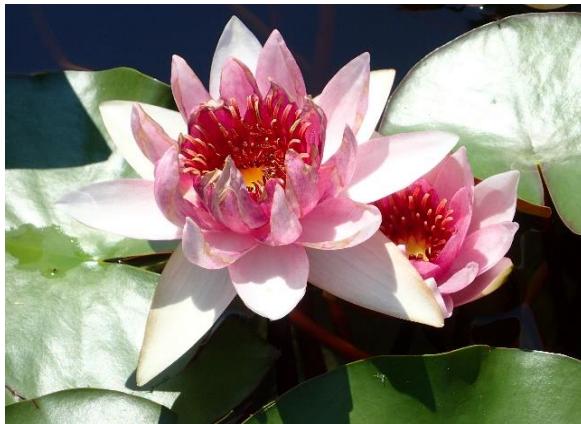
キンメイモウソウ イネ科

2023 みずの森 ~スイレンの香り紹介

みずの森では、約150種類以上のスイレンが咲いています。
スイレンは6月～8月に開花し、今の期間が一番多くの種類を見ることができます。
同じように見えて、いろんな顔を持つスイレンの世界を堪能してください。

スイレン水槽では、様々な温帯性（耐寒性）スイレンの香りを体験していただけます。





スイレンとハスの違いは？

スイレン		ハス	
葉	<ul style="list-style-type: none"> ・戸内形葉戸内形でせり込み カマリ ・通葉のみ はつようのみ ・発水性カマリなく叶形カマリある 	<ul style="list-style-type: none"> ・戸内形葉戸内形でせり込みカマリ ・浮き葉と立ち葉カマリ ・発水性カマリあり叶形カマリ 	
花	<ul style="list-style-type: none"> ・温帯性は水面に咲く て咲く ・熱帯性は水面から突き出 て咲く ・花が終わると閉じて水中 に沈む ・果托カマリできない 	<ul style="list-style-type: none"> ・水面から高く突き出て咲く 花が終わると水上で花弁 を散る ・果托カマリできる 	
根	<ul style="list-style-type: none"> ・温帯性はワサビ形の 塊根 ・熱帯性は球根型の塊根 	<ul style="list-style-type: none"> ・地下茎が肥大しレンコン になる 	





ハスのつぼみが気に入ったトンボ、さて、あなたは何トンボ？？？





フツキソウ



ガガブタとカエル

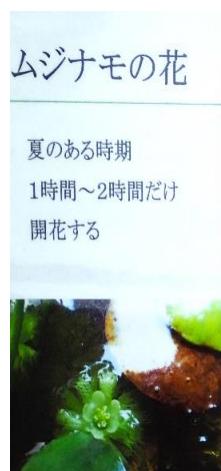


ヒシ



午前観察終了。

弁当組レストラン組に分かれて昼食タイム。 ハスの葉パウダー入りソフトクリーム↑



午後の活動 ロータス館では
映像ホールで記録映画鑑賞。
牧野富太郎博士の功績や発見された植物
展示を見学。ヒツジグサの開花にちょっと
心を残しながら水生植物園みずの森を後に
しました。最後に講座生が感想を短歌に
してくれました。

『水面に美しく咲くハスの花

香り漂い心潤う』

美智子



ハスの葉っぱを帽子にしてハイ、ポーズ!! 重鎮と講座生の皆さん